

内装・サインの打ち合わせが はじまりました



今回は内装・サインの打ち合わせが本格的に始まりましたので、その内容をご紹介します。

←左写真は3月に行われた内装の打ち合わせの様子です。設計会社から新病院各部屋の床、壁の材質や色の提案を受け、意見交換を行いました。景観維持や感染防止の観点から、手入れのしやすさを重視しつつ、各部屋の雰囲気や使用目的を意識して選定しました。

提案のあった内装 デザイン

壁
や
床



ドア
ノブ



このようになることを
イメージして検討しています



3月まで公開していたモデルルーム

内装の提案は左の写真のように、各部屋の壁紙や床材の一部を切り取ったもので受けました。

この一部分だけでは部屋全体をイメージすることは難しいですが、この時期に設置されていたモデルルームのようになることを想像して検討しています。

サイン計画

内装を検討することと同時期に、病院内の看板や表示案内等のサイン計画の打ち合わせも開始しました。サイン計画は患者さんが院内で迷うことなく目的地に行けるように、様々な動線を綿密に計算して、わかりやすく表示をしていきます。デザインは内装に合わせ、また北九州の伝統工芸である「小倉織」を用いてアクセントを出しています。



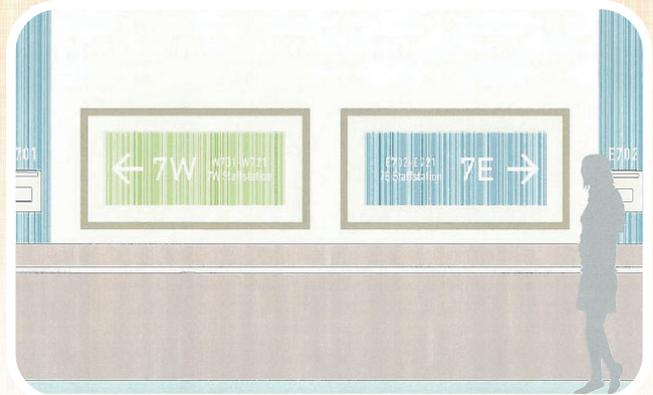
Point



デザインコンセプト

小倉の伝統工芸「小倉織」をイメージしたストライプ模様を表示面の背景として使用します。
また、各エリアにはゾーンカラーを選定しエリアの違いを分かりやすくします。

Point



病棟のフロアイメージ（案）です。
新病院では1フロアに2病棟と分かれるため、迷うことなく病室やスタッフステーションに案内できるように計画します。

□ 新病院の建設が着々と進んでいます



進捗は4月で半分程度の完成度となっています。外壁パネルの取付けがすすみ、外観がわかるようになってきました。内装工事も始まっています。

